

# みんなの居場所

## 裏面の話題

みんなの居場所の裏面も、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和8年6月1日(月)

### 【狹小】

私はよく市街地を教養するのだが、移動に熊本電鉄の電車を使っているところがある。その日は雨の予報が降り、雨は降らなかった。駅で待つ間に、私に傘をさして屋根の外側で電車を待っていた。駅には二人の子も連れて来たお母さんと、数人の男子高校生がいて、高校生は傘をさして談笑している。

ほんの少し電車が到着、出入り口に近いお客様から乗車していき、子ども連れのお母さんが遅れてしまった。雨模様……。

二人の子も連れては少し濡れてしまっただけ……と心配している……。高校生達も人か子どもに寄り添うように、傘をさしかけてくれたのだ。お母さんは電車の中で高校生達にお礼を伝え、更に二人の子も遅延なく、子ども達からもお礼を伝えていた。お姉ちゃんから「ありがとございます。」「抱っこされていた子どもは恥ずかしくて顔を背けていましたが、高校生達は笑顔だった。

その後、私は吊り革に捕まり、先ほどの場面を思い出してみた。

「抱っこしてもらえな……。」

10分あまり過ぎて藤崎駅のホームに降りると、先ほどの高校生達が降りる時、子どもを抱っこしていたお母さん、高校生達に頭を下げているお母さんの姿があった。高校生達は照れくさそうに立ち去った。子ども連れのお母さんは笑顔だった。

私は高校生達のお陰で、気持ち良くて上通を歩いた。若者の親切で、上手に周回の人まで気持ちよくなってきた出来事だった。こんな逢瀬が増えたいことを願って止まらな。



### シリーズ「自分を語る」#102

年度末、国際課の送別会、色々と忙しい中、学びが本日に徐々に浮かんできました。異動に関する本人への通知の日がやってきました。

実はこの日を迎えるまでに、伊倉小学校の校長先生から数回電話を頂いていました。私に伊倉小学校に戻って来て欲しいとの内容だったので、嬉しかったです。何事があったのかという心配半分という感じが正直なところですが、風の噂に、今はあんまりよくない状態だという聞いていましたので、私の心の中には「なげう」……という感情が渦巻いていました。国際課に勤務する前、私の伊倉小学校での生活は、本当に楽しいものでしたので、余計に……。

……異動の本人は、国際課の課長からでした。

澤田さん、1年間「苦勞様」でした。どうだったか、国際課は……。

「最初は体がもつ心配でしたが、終わってからはこの1年は私にとって掛け替えない経験でした。心に刻まれました。」

澤田さん、やっと学校現場に戻れますね。行き先は……、一言の言葉です。

五支市立伊倉小学校です。望まれての異動だと思います。

「ありがとございました。」……

……その後、同じ鳥の課長から「どうだったか」と聞かれ、「出戻りです。」と答え

る私。それから数日の間は、残務処理や課長と飲みに行くことが多かったですね。

伊倉小学校に挨拶に行くと、お母さんや……。

校長室に通われ、校長先生が満面の笑顔を迎えてくれました。私もその校長先生と職場を同じにした経験がありましたので、また一緒に仕事ができると思っていました。しかし、その校長先生は異動になるという事、教頭先生も異動という事で、少々淋しく感じました。

澤田さん、よく伊倉小学校に戻って来てくれましたね。みんな大歓迎です。」

「ありがとございました。」

……言いながら、あまりの歓迎ムードなので、何かあやうい思い聞いてみました。( )

「校長先生、最近の伊倉小学校は……。」

「実はね先生、先生には「ボランティア」で担任してもらいたい学年があるの。みんな落着いてるんだけど、あんな先生は……ボランティアのかけ違ひから……。」

「何年生ですか？」

「何年生ですか？」

「新しいです。」(トキトキ)

「私に聞けば、喜んで担任させて頂きます。」

私は何年生の担任をさせて頂きたいかという事で、大変なものはあるものの、学校を動かすという喜びがナルファットして付いていると感ずえています。また、小学校最後の担任として子ども達の心に残り、その後人生の節目で聞かれることがないので、すから、遺の甲斐や教師冥利を感じたいという思いがあります。

……国際課、最後の日です。(トキトキ)

……

……

……

……

……

……

……

……